

岐阜県

災害ボランティアアシンポ
ジウムin岐阜 開催報告
平成30年7月豪雨災害の経験を生かす



平成31年1月19日（土）、じゅうろくぷらザにて、岐阜県と当協会主催による「災害ボランティアアシンポジウムin岐阜」が平成30年7月豪雨災害の経験を生かす」が開催されました。冒頭に主催者を代表して、岐阜県健康福祉部の森岡部長と当協会の吉田理事長が挨拶し、続いて認定特定非営利活動法人レスキユーストックヤード代表理事の栗田暢之氏による「災害とボランティア」相次ぐ災害の現場から」と題する講演とパネルディスカッションが行われました。



栗田 暢之 氏

昭和39年生まれ。名古屋大学大学院環境学専攻修士。阪神・淡路大震災でコーディネーターとして被災者支援にあたったことを契機に、現在までに約40カ所の被災地で支援活動を展開。平成28年に設立した「全国災害ボランティア支援団体ネットワーク」代表理事を務めるほか、岐阜大学・至学館大学の非常勤講師としても活躍。

認定特定非営利活動法人レスキユーストックヤード 代表理事 栗田 暢之 氏
災害発生時は、まず自分の身は自分で守ること、自分一人では補えない部分は地域で助け合うことが大切である。行政だけに依存することなく、日頃から地域内でしっかりとコミュニケーションをとり、災害に備えた「地域力」を向上させることが重要である等の講演を頂いた。

講演 13:10～14:10
災害とボランティア
相次ぐ災害の現場から



野村 典博 氏 (写真右)
伊藤 三枝子 氏 (写真左)



村岡 治道 氏

認定特定非営利活動法人レスキユーストックヤード (コーディネーター)
代表理事 栗田 暢之 氏
〔パネリスト〕
岐阜大学地域減災研究センター
特任准教授 村岡 治道氏
清流の国ぎふ女性防災士会
会長 伊藤 三枝子氏
認定特定非営利活動法人ぎふNPOセンター
理事長 野村 典博氏
コーディネーター 栗田暢之氏の司会進行に沿って、パネリストがそれぞれの立場から発言をされた。災害発生前の平時の備え・共助の重要性、防災活動等への女性の参画、NPO・社協等の組織間連携の大切さ等に関して、活発な議論が交わされた。

パネルディスカッション 14:20～15:50
災害にも強い地域づくり・人づくり